

令和5年度 農業と情報シラバス

科 目	農業と情報	年 次	1	教科書	農業と情報	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版株式会社	前期38時間・後期38時間	

学習目標

私たち生活のあらゆる分野で、さまざまなコンピュータが使われています。これからは、コンピュータを使った情報処理の知識と技術を身につけることが、ますます重要になってきます。この科目では、コンピュータに親しみながら、コンピュータ利用の基本を身につける学習をします。

主な学習内容

1. 私たちの生活でコンピュータがどのような役割を果たしているのか、農業ではどのような使われ方をしているのかを学ぶ。
2. コンピュータの機能と装置について学ぶ。
3. コンピュータに仕事をさせるために必要なソフトウェアについて学ぶ。
4. 文書作成・表計算・プレゼンテーション等の基本的なコンピュータの使い方を、実際に操作しながら学ぶ。
5. コンピュータ通信（インターネット関連）について学ぶ。

授業について

情報活用能力の実践力を養うために、実際にコンピュータを操作する授業が多くなります。基本的な事柄を理解したら、操作に慣れることが大切ですので、積極的に実習に取り組んでください。授業で実施したものは保存し、プリントアウトして提出します。学年末には、プレゼンテーションソフトを使った発表会も行います。

定期考査・課題・提出物

学 期	前 期	後 期
考 査	中間考査、学期末考査を実施	中間考査、学期末考査を実施
試験範囲	コンピュータの構成、日本語ワープロ	表作成、プレゼンテーション
提 出 物	授業毎のファイル、入力原稿プリント	プレゼンテーション作品

評価の観点

観 点	内 容
知識・技術	農業と情報に関しての基本的な知識と技術を身に付けている。 各情報の収集・処理・活用できる基本的な知識と技術を身に付けている。
思考・判断・表現	農業の各分野に必要な情報を収集し、合理的に判断し、情報処理の手順や方法を工夫、整理、活用することができる。情報結果を総合的にまとめ、結果を適切に表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	情報化社会の仕組。みや農業の各分野に関心を持ち、情報化の諸問題の解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 情報のモラルとセキュリティー管理に関心を持ち、プライバシーの保護について探求し適切に取り組むことができる。

※ 評価の方法... 授業への参加（出席）、定期テスト、学習態度、提出物（毎時間の課題）、検定結果等を総合的に評価し、成績とします。